

# 手紙が彩る 穏やかな旅路

## ふみびと

### 旅のとまり木

第359号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

早いもので今年ももう十二月。十二月を「師走」とも呼び、僧侶たちが走り回るほど忙しい時期という意味があるそうですが、僧侶ではない私も、何となく十二月は忙しいようなイメージからか、毎年ソワソワしているように感じています。一年が終わっても大きく何か変わるわけではなく、いつも通りの日常が続いていくだけなのですが、今年一年を振り返り、また年が明ければ気持ち

を新たに日常を迎えられるという意味では、一年の区切りというのでも大事なもののなかもしれない。誰かと話をするときも、どちらからともなく「今年はどうな年だった」とか「今年はこんなことがあった」と思い出しながら話すのも師走の風物詩のようになっています。毎年感じる「ソワソワ」もどこかそんな風物詩として楽しんでいられるような気がしています。



皆さんにとってのこの一年はどんな年だったでしょうか。手紙を交わりながら季節の移り変わりを感ぜられるような一年だったでしょうか。あるいはまだ見ぬ相手とのやり取りを待ち遠しく感じているだけか。一年だったでしょうか。

ゆっくりとしたためられ、ゆっくりと交わされる手紙の穏やかな旅が、皆さんの一年の生活を彩るものであってくれていたら嬉しいものです。今年交わされる手紙もあとわずか。今年最後に綴られる手紙が、一年の旅の締めくくりを少し特別な瞬間にしてくれることを願っています。走るように流れる「師走」の最後のひととき。その時間を穏やかな気持ちにしてくれる、旅のとまり木になれるような。

### 心の中の景色

旅先での朝の散歩を楽しみながら。澄んだ空気の中、街や自然が目覚める瞬間を感じられる特別な時間だ。広がる景色を眺めるのが楽しみで、どんな風景が待っているのか考えると心が弾む。けれども、先日の旅では深い朝もやが立ち込めていて、遠くの景色がほとんど見えなかった。残

足元の草花に目を向けてみると、朝露で輝く葉や、花びらの細やかな模様が目に入った。小さな美し

念に感じながら歩き出したけれど、次第に気持ちが変わっていった。遠くが見えない分、近くの木々やかぶ山の輪郭を見て、どんな景色が広がっているのかを想像するのも楽しかった。見えないものを思い描くことが心の中の景色を広げてくれる気がした。その朝の散歩は思っていた以上に心に残るものになった。

### 風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだす。事務局宛の返信筒に流し込みます。事務局宛の返信筒に流し込みます。事務局宛の返信筒に流し込みます。



### 次回発送日

次回は年内最後の発送日となります。23日の予定です。送りたいお手紙がある場合には3日前(20日)までに事務局に到着するようお送りください。

### お知らせ

#### ★感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させていただきます。方法は事務局宛でのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報保護を伏せた上でご紹介させていただきます。いつも、事務局へのお手紙ありがとうございます！ご要望等もお気軽にお送りください。

